

令和 6年度予算見積調書

課室名: こども安全課
 担当名: 児童虐待対策担当
 内線: 3335

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
S260	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業		一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	児童虐待防止対策費	
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	児童福祉法第11条、12条 児童虐待防止等に関する法律第4条 等 (義務)		針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	16
					分野施策	0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsターゲット	16-2
1 事業概要	音声認識による記録の作成や類似事例の検索機能の追加により定型業務の自動化を行い業務の効率化を行うとともに、ベテラン職員のノウハウに基づくヒアリング補助機能により若手職員の能力の底上げを図る。		5 事業説明		(1) 事業内容 ・ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業 音声認識による記録の作成や類似事例の検索機能の追加により定型業務の自動化を行い業務の効率化を行うとともに、ベテラン職員のノウハウに基づくヒアリング補助機能により若手職員の能力の底上げを図る。			
	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業 10,956千円		(2) 事業計画		・構築システムの運用保守業務			
			(3) 事業効果		・児童福祉司が相談業務などの主業務に注力できる環境を整えることにより、複雑化する児童虐待事案等に対して迅速で きめ細かい対応が可能になる。 【活動指標 (アウトプット)】 ・音声認識システムを使用した場合の1件あたりの業務時間削減効果 電話相談記録作成 △33% 面談記録作成 △44% 議事録作成 △60% 【成果指標 (アウトカム)】 ・児童虐待死亡事例 0件			
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況	なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.2人=1,900万円							
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	10,956						10,956	△684
前年額	11,640						11,640	

事業内訳書

事業名	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業		
単位事業名	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業	予算額	10,956千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	10,956	△684	
合計	10,956	△684	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	0	△57	
委託料	10,956	△627	音声認識システム、類似事例検索機能保守業務委託
合計	10,956	△684	